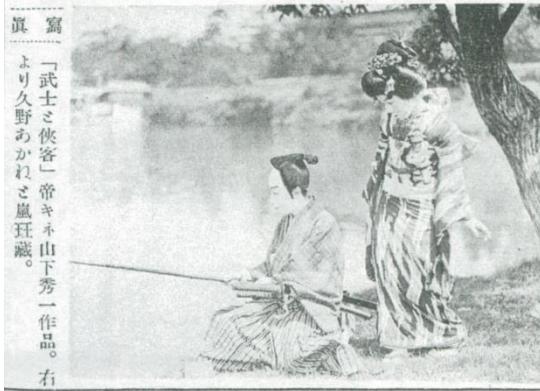


武士と侠客 前後篇



「武士と侠客」帝キネ山下秀一作品。右
より久野あかねさ嵐狂藏。

解説——山下秀一氏の「因果小僧」に次ぐ監督作品である。略筋——浦部欣吾は家老山影宗右衛門の娘絹江に想はれ、宗右衛門に將軍家拜領の印籠を申込まれ結納代りと獨りぎめに將軍家印籠を押つけられ、印籠を奪はれ、亂闘の折過つて印籠を渡し、この縁談を断つたが、出奔したが、この縁談を離れた驅を鳴神三右衛門の夫に再び軍太夫に娶られた。父親欣之進は御役御免となり、彼の家に養はれ、欣吾と末を約してゐたおふじは、太に逢ふて欣吾に邂逅し、歸参して絹江と結婚をす。己が意志を改めて駕の生活に入る事を好み、我身は自害して相果てた。欣吾は武士を捨て、三右衛門の身内となり名前を藤金五郎と改めた。一日軍夫太は平素三右衛門

山影宗右衛門 横車平九郎 菅野軍太夫 鳴神三右衛門 三途の勘太 絹江 おふじ おふじ 信
——主役役割——
山影宗右衛門 池田千太郎
横車平九郎 青嵐狂藏
菅野軍太夫 木芳徳藏
鳴神三右衛門 下元俊郎
三途の勘太 井良之
絹江 野翫節
園南久子
千枝子
野翫節
木芳徳藏
青嵐狂藏
池田千太郎
山影宗右衛門
横車平九郎
菅野軍太夫
鳴神三右衛門
三途の勘太
絹江
おふじ
おふじ
信
——監督——
山影宗右衛門 池田千太郎
横車平九郎 青嵐狂藏
菅野軍太夫 木芳徳藏
鳴神三右衛門 下元俊郎
三途の勘太 井良之
絹江 野翫節
園南久子
千枝子
野翫節
木芳徳藏
青嵐狂藏
池田千太郎
山影宗右衛門
横車平九郎
菅野軍太夫
鳴神三右衛門
三途の勘太
絹江
おふじ
おふじ
信
——原作並總指揮者——
帝キネ時代映畫
——撮影者——

に押され勝の横車平九郎を頼んで絹江を拉し去らんされたが、勘太はそれを知らせるため欣吾の許へ駆けつけた。(以上前編)
軍太夫は平九郎と共に拉し來つた絹江に迫る折柄、欣吾と勘太夫に踏み込み込まれ絹江を奪ひ返された。再びその復讐を企てんと平九郎を唆して終つた。それなぞ以て三右衛門を呼び出した。しかし、果し状況を以て三右衛門を呼び出した。欣吾は馳せつけて鮮やかに見事勝利を得、祝ひの席上に於て三右衛門のあざを纏く事なき承知した。が間もなく三右衛門は宗右衛門の懲願退け難く欣吾を勤めて捕へられて車平九郎を奉行として取調べへらる事になつた。軍太夫は奉行として取調べへらる事になり、情深い裁きを與へて兩人を悔悟せしめた。その頃欣吾は絹江を妻とした。かくて四方にわざまつた。(後篇完)